事例No.	531
公表年度	H28
団体の属性	町村
団体名	愛媛県砥部町

事例区分	公会計

タグ	・セグメント分析 ・EBPM ・（公会計）その他

事例種類	セグメント分析

事例内容・タイトル

予算要求特別枠による中長期的なコストの削減（予算編成）

出典

地方公会計の活用のあり方に関する研究会

セグメント分析（予算編成への活用）

【事例】予算要求特別枠による中長期的なコストの削減（愛媛県伊予郡砥部町）

背景・目的

○ 予算の編成過程において、施設別・事業別財務書類の活用や中長期的なコストの「見える化」により、限られた財源を賢く使うことを促進していく。

事例概要

○ 平成28年度において、公会計を活用した「予算要求特別枠」を設定。中長期的なコスト減につながる事業(蛍光灯のLED化、高耐久性部材の導入等)については、通常の予算要求枠とは別枠での予算要求を可能とした。

○ 各担当課は、施設別・事業別の財務書類を審査資料として財政当局に提出。中長期的なコスト減の検証などを行っていく。

年間コスト比較（イメージ） ［施設別のライフサイクルコスト（試算）］

	初期費用	初期費用／耐用年数
蛍光灯	300万円	150万円
蛍光灯型LEDランプ	1，000万円	100万円

※耐用年数について、通常の蛍光灯は2年、LEDライトは10年と仮定
※この他、電気代の削減も2割程度期待できる。

LED化した場合、年間50万円削減でき、電気代の削減も2割程度期待。

中長期的にはLED照明器具の方が安くなるため、LEDを選択。

効果等

○ 「予算要求特別枠」を創設することにより、財務書類を積極的に活用し、中長期的なコストを意識した予算編成を行う機運が醸成された。